

日本知的障害者福祉協会の組合敵視による刑事弾圧策動を糾弾する!!

日本知的障害者福祉協会事務局職員のみなさん! 港区浜松町界隈で働く労働者のみなさん! 私たちは東京南部労働者組合・日本知的障害者福祉協会(南部労組・福祉協会)です。職場の労働環境改善、労働者の権利確立を要求し、ストライキを決定して春季統一行動で闘っています!

南部労組・福祉協会の組合活動(これまでの経緯)

公益財団法人日本知的障害者福祉協会事務局(以下、協会)の事務局員が、2016年2月に地域合同労組の東京南部労働者組合(南部労組)に加入。2016年4月18日に第1回団体交渉(団交)が開催されました。しかし、議題となった末吉事務局長による過去の暴行・パワハラと労基法違反について、私たちは第1〜2回団交で協会としての謝罪と対策及び法令違反に至った経緯を明らかにするよう要求したところ、違法な労務管理実態・暴行・パワハラの実態が明らかになることを恐れた末吉事務局長は第3回団交から逃亡。協会の誠実交渉義務違反、組合員への嫌がらせ行為に私たちは東京都労働委員会に不当労働行為を申し立て、4年にわたる調査・審問を経て、組合側の主張をベースとした全面和解となりました。然るべき責任者(当然、事務局長含む)が団交に出席し、協会は誠実に団交交渉を行うことが和解協定書には明記されて



※イラストはあくまでイメージです。

ています。私たち組合は都労委和解の履行・遵守を求めて交渉を重ねてきました。ところが協会は末吉事務局長の団交出席を拒否し続けているばかりか、これまでの団交によって、協会の組合活動への警察介入が発覚したり、協会は組合対策として弁護士を2人に増員して自らはダンマリ、弁護士に団交を丸投げして不誠実団交を行ってしまいます。加えて、組合員を狙い撃ちにした刑事事件化を画策するという、とんでもない事態が発生しました。私たちは職員が安全に働けるよう、労働者の権利を守るために闘っています。

2025年12月4日の昼休み、協会事務所(このビラの「南部の組合活動」(これまで)の経緯)を参照)と当組合の組合員がフロアの通路のすれ違いざまに、お互いの足がぶつかり、末吉事務局長が転倒しました。驚いて心配した組合員が転倒した末吉事務局長に「大丈夫ですか?」と声をかけたところ、そこに割って入ってきた事業課長代理(都労委事件のもう一つ)が、あなたも組合員が末吉事務局長の足を引っかけたように大声で騒ぎ立てました。さらにかつて組合活動を監視していた職員某(組合掲示板ブログ記事「職場闘争」の協会前&社会福祉士養成所東京スクーリング参加者に福祉協会の実態を訴える)を参照)も現場を目撃し(裏面に続く)

職場で起こった些細なトラブルを警察に報告・相談?



※イラストはあくまでイメージです。

不当解雇・退職勧奨・嫌がらせ・排除・密告の横行……こんな職場で働けますか？

悩まずに相談を！労働組合で安心して働ける職場をつくらう！

（表面から続く）てもいらないのに、便乗して組合員を非難し、罵声を浴びせ始めました。当の組合員はそんなことはしていませんし、する理由もありません。あまりに一方的で筋違いな非難に唖然とし、ひどい言いがかりであることを末吉事務局長とこの2人の職員に猛抗議しました。

その一週間後、愛宕警察署から組合員に直接電話がありました。協会から相談があったので、12月4日の件について聞きたいから署に来てもらいたいとのこと。ただの職場内でのトラブル、しかも、その後に当事者間で事実確認も全く行われていない出来事に警察が介入すべき事案ではないため、組合員は警察の任意の聴取には応じられない旨を伝えました。それにしても、職場の労働者への安全配慮を蔑ろにし、些細な職場内のトラブルを警察に報告・相談し、組合員による意図的な暴行傷害があったとして刑事事件化を目論む協会に対して憤りを覚えずにはいられなかつたため、組合から協会に対して抗議と団交の申し入れを行いました。

第23回団体交渉（2026年1月20日）

団交会場にはプロジェクターが用意されていました。協会が「百聞は一見に如かず」と言っていて私たち組合に見せたのは、団交から逃亡している末吉事務局長が自ら出演し、当該組合員役を総務課



何が「百聞は一見に如かず」だよ……

※イラストはあくまでイメージです。

ああ？「再現映像」って何なの？
ただの「どっち上げ」……

局長が自ら出演し、当該組合員役を総務課長が演じている「再現映像」なるもの。映し出されたその「再現映像」は当該組合員役が末吉事務局長の足を故意に引つ掛けて転倒させているという、事実無根の「どっち上げ」捏造「動画」でした！当該組合員への名誉毀損と刑事事件化を狙った悪意に満ちた攻撃です！加えて、当該組合員がわざと転倒させたとは非難する取り巻き職員と末吉事務局長に対して抗議している当該組合員の声を隠し録りまでしていたのです！

捏造動画と隠し録り音声を持って警察に行ったことにも呆れましたが、これが何の証拠になるのか？と質問するとその言い訳もグダグダで、挙句の果てに総務課長は組合員に向かって悪態を吐き、それを諫めることもせず終始タンマリを決め込む常任理事……と、過去一ひびいた団交でした！

職場で何かあったら即、警察に通報される職場で安心して働けますか？

かつて私たち組合が2017年の年末に組合情宣行動を行った際、末吉事務局長は組合員に「体当たりされて、壁に押し付けられた」という、事実無根の虚偽報告を警察に行ったことがありました。この件が明らかになった団交では組合活動への警察介入として協会に抗議してきた経緯があります。今回も全く同様で、協会は何の証拠もない、どっち上げで刑事事件化を画策し、組合員に対する攻撃と組合活動を萎縮させようという思惑なのでしょう。協会のなりふり構わない組合敵視・嫌悪の如きな表れとしか言いようがありません！労働者が安心して働ける職場のために、協会の組合敵視・嫌悪による刑事弾圧策動を決して許すことなく、私たち組合は闘います！（2026.5.20）

抗議先はこちら！ → （公財）日本知的障害者福祉協会 港区浜松町 2-7-19 KDX 浜松町ビル 6F ☎03-3438-0466 FAX03-3431-1803

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

なんぶ 東京南部労働者組合・日本知的障害者福祉協会（南部労組・福祉協会）
インターネット組合掲示板 BLOG jaidunion.com

*職場でのいじめ・嫌がらせ、解雇、残業代未払い... その他、労働相談はこちらへ！ → 東京南部労働者組合（南部労組） <http://southwind.webnode.jp/> ☎ & FAX 03-6417-3038 southwind@mbm.nifty.com

